

# 後漢政治制度の研究



[後漢政治制度の研究\\_下载链接1](#)

著者:渡邊 将智

出版者:早稻田大学出版部

出版时间:2014-3

装帧:精装

isbn:9784657147011

現代中国の政治体制は、前近代から続く歴史の流れのなかで、辛亥革命や国共内戦を経て次第に形成されてきた。故に、前近代中国の皇帝支配体制に目を向けて、その実態を把握することは、現代の政治体制の形成過程とその内容をより深く理解し、かつ

将来的な課題に対応していくための基盤として必要不可欠である。本書では、前近代中国の皇帝支配体制の実態を明らかにすることを目的に、後漢期の政治制度の構造を重点的に論考する。

作者紹介:

1978年千葉県生まれ。現職、早稲田大学長江流域文化研究所招聘研究員、大東文化大学文学部非常勤講師。専門は漢代政治制度史(官制史)、後漢政治史。2001年二松学舎大学文学部中国文学科卒業。2010年早稲田大学大学院文学研究科史学(東洋史)専攻博士後期課程修了、博士(文学)取得。2007~2008年大東文化大学人文科学研究所兼任研究員(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目録: 序 章 漢王朝の皇帝支配体制と後漢時代1

はじめに

第一節 先行研究の展開

一 黎明期

二 継承期

三 再検討期

四 先学の所論の要点

第二節 残された検討課題

第三節 本書の構成

第一章 後漢における宦官の制度的基盤と尚書台

はじめに

第一節 宦官の制度的基盤と「省尚書事」

第二節 「省尚書事」の再検討

一 「漢家の舊典」の内容

二 宣帝期以降の前漢の侍中・中常侍と「省尚書事」

第三節 後漢の中常侍と「顧問應對」

一 「顧問應對」の内容

二 後漢洛陽城の基本構造と諸官の発言の場

第四節 宦官の政治活動とその制度的基盤

おわりに

第二章 後漢における外戚の制度的基盤と尚書台——梁冀政権を事例として

はじめに

第一節 「跋扈將軍」の権勢

第二節 桓帝の擁立と「録尚書事」

一 「録尚書事」と「領尚書事」

二 「録尚書事」と「師傅の官」

三 「録尚書事」の内容

第三節 元嘉元年の殊典賜与と「平尚書事」

一 「平尚書事」の内容

二 「平尚書事」と殊典

第四節 梁冀政権の崩壊とその制度的基盤

第五節 外戚の制度的基盤

おわりに

第三章 「三公形骸化説」の再検討——『昌言』法誠篇の解釈をめぐって

はじめに

第一節 「三公形骸化説」と『昌言』法誠篇

第二節 法誠篇の再検討

一 「臺閣」の解釈〔Ⅰ〕

二 「臺閣」の解釈〔Ⅱ〕

三 「臺閣」の解釈〔Ⅲ〕

#### 四 「臺閣」の解釈〔Ⅳ〕

#### 五 法誠篇の解釈

#### 第三節 三公の職務と法誠篇

#### 第四節 三公に対する皇帝の認識

おわりに

### 第四章 後漢における公府・將軍府と府主

はじめに

#### 第一節 公府・將軍府による政策案の作成・審議

##### 一 政策案の審議と朝堂・百官朝会殿

##### 二 政策案の作成と官衙・百官朝会殿

#### 第二節 三公府による政策案の事前審査

#### 第三節 尚書台と政策案の作成・審議の関係

##### 一 政策案の審議との関係

##### 二 政策案の作成との関係

#### 第四節 公府・將軍府による政策案の作成・審議の淵源

##### 一 前漢武帝期における政策案の作成・審議

##### 二 霍氏政権期における政策案の作成・審議

##### 三 霍氏誅滅後における政策案の作成・審議

#### 第五節 皇帝の決裁と府主の役割

おわりに

### 第五章 政策形成と文書伝達——後漢尚書台の機能をめぐって

はじめに

#### 第一節 上奏文の伝達

##### 一 上奏文の作成と上奏

##### 二 上奏文の伝達と尚書台

#### 第二節 上奏文の決裁と詔の伝達

##### 一 上奏文の審議と決裁

##### 二 決裁の授受と尚書台の官衙の位置 ￥

##### 三 詔の起草と伝達

#### 第三節 政策形成・文書伝達の復元

#### 第四節 後漢における尚書台の機能

おわりに

### 第六章 後漢洛陽城における皇帝・諸官の政治空間

はじめに

#### 第一節 皇帝・皇太后の執務場所と生活空間

#### 第二節 諸官の執務場所とその役割

##### 一 諸官の執務場所と後漢洛陽城

##### 二 侍中・中常侍・大夫・議郎の役割

#### 第三節 後漢政治制度の基本構造

#### 第四節 後漢政治制度の形成過程

##### 一 武帝期以降の長安城と諸官の執務場所

##### 二 側近官の縮小再編成と政治制度の改編

おわりに

### 第七章 政治空間よりみた後漢の外戚輔政——後漢皇帝支配体制の限界をめぐって

はじめに

#### 第一節 外戚と「輔政」

#### 第二節 内戚輔政から外戚輔政へ

##### 一 内戚輔政の挫折

##### 二 外戚輔政の萌芽

#### 第三節 外戚政権と政治空間

##### 一 竇氏政権と後漢洛陽城

##### 二 竇氏誅滅と「改編」

##### 三 「改編」以後の外戚政権

##### 〔Ⅰ〕 鄧氏政権

〔Ⅱ〕 梁氏政権  
〔Ⅲ〕 「改編」以後の外戚政権と後漢洛陽城  
第四節 後漢における皇帝支配体制の限界  
一 外戚の就任官とその執務場所の変遷  
二 後漢皇帝支配体制とその限界  
おわりに  
終章 漢王朝の皇帝支配体制の特色とその展開  
はじめに  
第一節 本書で検証された内容  
一 宦官の制度的基盤について  
二 外戚の制度的基盤について  
三 「三公形骸化説」について  
四 公府・將軍府の機能と府主の役割について  
五 尚書台の機能について  
六 後漢の政治制度の基本構造とその形成過程について  
七 後漢の皇帝支配体制の限界について  
第二節 漢王朝の皇帝支配体制の特色と曹魏における継承・発展  
補論 後漢における「内朝官」の解体と九卿の再編――少府・光祿勳を中心として  
はじめに  
第一節 「内朝官」と「職屬」・「文屬」  
第二節 後漢洛陽城と少府の属官  
一 少府に「職屬」する属官とその執務場所  
二 少府に「文屬」する属官とその執務場所  
〔Ⅰ〕 士人専任の属官  
〔Ⅱ〕 宦官専任の属官  
第三節 後漢洛陽城と光祿勳の属官  
一 光祿勳に「職屬」する属官とその執務場所  
二 光祿勳に「文屬」する属官とその執務場所  
第四節 「職屬」・「文屬」の区別とその基準  
第五節 「内朝官」の改編とその制度的な背景  
おわりに  
引用参考文献一覧  
初出一覧  
あとがき  
英文要旨  
索引  
・ ・ ・ ・ ・ ([收起](#))

[後漢政治制度の研究\\_ダウンロード1](#)

标签

秦汉史

渡边将智

制度史

日本汉学

後漢史

后汉政治制度の研究

渡邊將智

政治制度

评论

近年来最精彩的东汉史研究论著之一，线索清晰，从“皇帝支配体制”出发，关于三公、宦官有不少颇具新意的论述。不过关于外戚权力，外戚与宦官关系的论述还有不少可以补充的地方。本书第七章已经有中译文，但个人感觉这本书还是有整本翻译成中文的价值的。

-----  
[後漢政治制度の研究\\_ 下载链接1](#)

书评

-----  
[後漢政治制度の研究\\_ 下载链接1](#)